

令和3年度(2021年度)公益財団法人 音楽文化創造 事業報告

当財団は、平成6年に制定された「音楽文化の振興のための学習環境の整備に関する法律」(略称:音楽振興法)の趣旨に基づき、音楽に関する文化活動を幅広く振興すると共に、生涯学習の一環としての音楽学習の環境整備を図り、わが国の音楽文化の発展と音楽を通じた相互理解の促進に寄与することを目的としています。令和3年度はこの目的に沿って事業を展開しました。

【公益目的事業】

1.音楽に関する国内外の協議会、講演会等の開催及びその開催のための協力

音楽振興法推進の精神に基づき、全国各地域の音楽文化振興と生涯音楽学習の環境整備を目的に「FORUM in 国際音楽の日 2021 オンライン ～いつでも♪どこでも♪誰とでも♪音楽でつながる～ポストコロナ時代のSDGsと音楽活動」を開催致しました。今回も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により参加者の安全と健康に配慮しオンライン形式での開催となりました。

<日程> 令和3年10月17日(日)

<形式> Zoomによるオンライン配信

配信拠点:ヤマハ音楽振興会目黒ビル3FスペースM及び全国協議会12支部

<主催> 全国生涯学習音楽指導員協議会

<主管> 「FORUM in 国際音楽の日 2021 オンライン」実行委員会

<協賛> 公益財団法人音楽文化創造

<後援> 大阪府教育委員会

ヤマハ株式会社

株式会社河合楽器製作所

鈴木楽器販売株式会社

株式会社ヤマハミュージックジャパン

公益財団法人日本芸能実演家団体協議会

一般社団法人全国楽器協会

一般財団法人日本青年館

<内容>

・講演1.「日本伝統芸能の持続・伝承について」

～能の魅力と能を通じた繋がりスラボフ・ペトコ氏の活動をとおして～

講師:スラボフ・ペトコ 能楽研究家 アプリ開発会社「Team OKINA」経営者

・講演2. コロナ禍での「民族楽器」における活動

講師:田島 隆 タンバリン・フレームドラム演奏家

・対談. リモートアンサンブル～本協議会の取り組みをとおして～

対談者:全国協議会代表 乗友美智子、愛媛支部代表 豊田千恵子、山口支部代表 廣田由実

アトリエ千月 望月良太、音楽文化創造 揚石明男

・各支部リレー交信

<参加者> 174名 協議会:23支部124名 (集合参加:12支部71名、個人参加:53名)
招待:43名、一般:7名

2.「国際音楽の日」の普及のための事業、その他音楽を通じた国内外の文化交流事業の実施

音楽振興法第7条に定められた「国際音楽の日」を広く普及することを目的としたコンサートやイベントなどを実施する音楽団体に対し助成を行いました。

<申請団体数> 16件

<助成決定団体数> 10件

<国際音楽の日記念事業 選考委員会> 2021年3月1日実施

委員: 久保田 慶一 東京経済大学客員教授、放送大学非常勤講師
公益財団法人音楽文化創造理事

神部 智 茨城大学教授

木下 大輔 宇都宮大学教授

河原 啓子 国立音楽大学、青山学院大学、立教大学他兼任講師

アートドキュメンタリー作家(日本文藝家協会正会員)、アートジャーナリスト

<実施報告>

*新型コロナ感染拡大の影響により中止 3件

・9月12日(日) ひらけ!おとの世界 ~学んで・遊んで・楽しんで~

主催:音楽デュオ葉月(大阪府堺市)

会場:堺市葉月ミュージック「ベルベヤ」(会場開催、後日YouTubeにて公開)

内容:4月から8月に5回体験講座を実施、9月12日に成果発表

・10月16日(土) 第13回宮あつとホーム～童謡と昔話の集い～

主催:プチミュールと小泉みのりシニアクラブ(静岡県富士宮市)

会場:富士宮市民文化会館大ホール(会場開催 無観客、公開レッスン形式)

内容:2か月にわたり、区民会館に集まり長寿会の方々から童謡の生まれた時代背景や昔遊び、当時の生活様式等について話を聞き童謡、歌唱の魅力を深く味わい童謡や歌唱に親しむ。10月16日に成果を発表

・10月30日(土)、31日(日) 第14回みゅーじっくフェスティバル

主催:全国生涯学習音楽指導員協議会愛知支部(愛知県名古屋市)

会場:名古屋市名東文化小劇場(会場開催)

内容:邦楽と洋楽のアンサンブル演奏、合唱・朗読劇、手話ダンス等練習の成果を10月30日、31日発表、地元の子ども地歌舞伎の友情出演あり

・11月14日(日) 0歳からのファミリーコンサート

～休日昼下がりのファミリーコンサート&ガラス楽器でおもてなし～

主催:全国生涯学習音楽指導員協議会 山口支部(山口県山口市)

会場:不二輸送機ホール(山陽小野田市文化会館)

内容:オペラの名曲を方言(山口弁)に訳しての演奏、親子向けに絵本を用いて物語形式の歌を披露

・11月21日(日) 第9回ふれあい音楽会 2021

主催:音活レクユニットBeans(埼玉県ふじみ野市)

会場:ウェスタ川越小ホール

内容:高齢者・障害者福祉施設、市民大学講座などで『音楽で今この時を楽しく』をモットーに音楽活動を継続している方々と地域の皆様が一緒に様々なジャンルや楽器の演奏を楽しむ「ふれあい音楽会」を開催

・11月23日(祝) 狩野泰一の音風景 篠笛コンサート～思い出の作品と音でうたう～

主催:ケアピスト・カノン(新潟県三条市)

会場:新潟市民芸術文化会館新潟りゅーとびあ4階ギャラリー

内容:思い出の作品や映像と音のコラボを通して、自分の支えとなる心地良い時間を味わって頂く音ケアとして、ギャラリーにて篠笛コンサートを開催

・12月23日(木) えほんライブ「自分もまわりも大好きになる魔法の物語」動画配信コンサート

主催:NPO法人ハーモニッククラブ(大阪府枚方市)

会場:YouTube動画配信

内容:オリジナルの絵本の絵をプロジェクターで映し、朗読と歌と楽器の演奏で五感を通した体験型ライブ
3歳～7歳子どもたちにキッズパフォーマーワークショップを実施し、練習の成果をコンサートの中で発表

3. 音楽学習に関する指導員の養成プログラムの開発及び実施

<地域音楽コーディネーター養成講座>

地域において音楽による文化振興をはじめ、様々な社会貢献活動を推進するために、音楽専門家、地域住民、音楽団体、行政等との連携を図り自らも推進役となれる人材の育成を目的に講座を実施しました。受講修了後「地域音楽コーディネーター」の資格を認定しました。対象者は地域において音楽による社会貢献活動に携わっている、または今後音楽による社会貢献活動を始めたいと思っている一般の方々です。

*7月、9月、11月、1月、3月の5回開催 受講生194名 認定者累計988名

*新型コロナウイルス感染拡大の影響により全てオンライン形式にて開催

●養成講座オンライン 7月

<実施日> 令和3年7月10日(土)

<対象> 一般

<受講者数> 34名

<内容>

(1)【生涯学習と音楽】

テーマ:「新型コロナウイルス・パンデミック後に音楽生涯学習は可能か」

講師:久保田 慶一 東京経済大学客員教授、放送大学非常勤講師
公益財団法人音楽文化創造理事

(2)【文化と地域創生】

テーマ:「音楽の力で地域を元気にする」

講師: 渡辺 昌明

東大阪市文化創造館 館長、全国公立文化施設協会 コーディネーター
近畿大学文芸学部舞台芸術専攻 非常勤講師(アートマネジメント論)

(3)【地域文化マネージメント】

テーマ:「コロナで生まれた新しい輪」

講師: 中村 牧 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 磯子区民文化センター 杉田劇場 館長
公益財団法人音楽文化創造 理事

(4)【音楽企画書の書き方】

テーマ: 音楽企画書の作成、助成金申請について、企画のアイデア発想

Zoomのブレイクアウトルームを使ったワークショップ

講師: 松澤 寿典 一般社団法人ソーシャリスト21st代表理事

●養成講座オンライン 9月

<実施日> 令和3年9月26日(日)

<対象> 一般

<受講者数> 35名

<内容>

(1)【生涯学習と音楽】

テーマ:「人とのつながりの中で音楽を学ぶことの意味とその支援について」

講師: 志々田 まなみ 文部科学省国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官
公益財団法人音楽文化創造 理事

(2)【文化と地域創生】

テーマ:「地域の文化を考える」

講師: 広中 省子 長久手市文化の家 事業アドバイザー

(3)【地域文化マネージメント】

テーマ:「文化行政のこれから ～プレイングプロデューサーの必要性～」

講師: 西尾 征樹 一般社団法人コミュニティエデュ代表理事

大阪樟蔭女子大学 非常勤講師、大阪府公民館・関連施設連絡会事務局長

(4)【音楽企画書の書き方】

テーマ:「ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる！」

Zoomのブレイクアウトルームを使ったワークショップ

講師: 大谷 邦朗 グッドニュース情報発信塾 塾長

●養成講座オンライン 11月

<実施日> 令和3年11月6日(土)

<対象> 一般

<受講者数> 23名

<内容>

(1)【生涯学習と音楽】

テーマ:「地域で育む文化力 ―生涯学習における”経営”と”支援”―」

講師:梶田 美香 名古屋芸術大学 教授、名古屋大学・南山大学 非常勤講師、博士(人間文化)
公益財団法人音楽文化創造 理事

(2)【文化と地域創生】

テーマ:「舞台芸術とこども」

講師:丹羽 康雄 愛知県芸術劇場 企画アドバイザー、名古屋芸術大学 特別客員教授
全国公立文化施設協会 副会長

(3)【地域文化マネジメント】

テーマ:「文化をまちづくりの力に」

講師:広中 省子 長久手市文化の家 事業アドバイザー

(4)【音楽企画書の書き方】

テーマ:「音楽にできることとは？」

目に見えない「音楽」をどのように言語化、可視化し、求める対象に伝えるか？アイデアを集約し企画書を作成・発表する。

講師:生田 創 長久手市文化の家 館長補佐兼事業係長

●養成講座オンライン 1月

<実施日> 令和4年1月30日(日)

<対象> 一般

<受講者数> 52名

<内容>

(1)【生涯学習と音楽】

テーマ:「音楽の発展的共有のために 地域音楽コーディネーターの展望」

講師:河原 啓子 国立音楽大学、青山学院大学、立教大学他兼任講師

アートドキュメンタリー作家(日本文藝家協会正会員)、アートジャーナリスト

(2)【文化と地域創生】

テーマ:「音楽の力で地域を元気にする」

講師:渡辺 昌明 東大阪市文化創造館館長

(3)【地域文化マネジメント】

テーマ:「地域連帯と音楽活動 ～共創の音楽で子どもたちに生きる力を、地域に活力を～」

講師:菊川 穰 一般社団法人エル・システムジャパン代表理事

(4)【音楽企画書の書き方】

テーマ:「ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる!」

Zoomのブレイクアウトルームを使ったワークショップ

講師:大谷 邦朗 グッドニュース情報発信塾 塾長

●養成講座オンライン 3月

<実施日> 令和4年3月6日(日)

<対象> 一般

<受講者数> 50名

<内容>

(1)【生涯学習と音楽】

テーマ:「人生100年時代 地域に必要なのは「資金」か「人財」か」

講師:近藤 真司 一般財団法人日本青年館公益事業部「社会教育」編集長
公益財団法人音楽文化創造 理事

(2)【文化と地域創生】

テーマ:「文化の力で地域づくりに挑戦する術」

～文化の力が地域にもたらすもの・・・居場所が生まれた♡

講師:中村 牧 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 磯子区民文化センター 杉田劇場館長

(3)【地域文化マネジメント】

テーマ:「地域連帯と音楽活動 ～共創の音楽で子どもたちに生きる力を、地域に活力を～」

講師:菊川 穰 一般社団法人エル・システムジャパン代表理事

(4)【音楽企画書の書き方】

テーマ:音楽企画書の作成、助成金申請について、企画のアイデア発想

Zoomのブレイクアウトルームを使ったワークショップ

講師:松澤 寿典 一般社団法人ソーシャリスト21st代表理事

<地域音楽コーディネーター探究講座>

認定を受けた地域音楽コーディネーターのフォローアップ研修として、実践に役立つ知識、スキル、コツの取得を目的に実施しました。今年度は、地域音楽コーディネーターから要望の高いファンドレイジングの活用法及びNPO法人の立ち上げ方等について取り上げました。

*新型コロナウイルス感染拡大の影響により全てオンライン形式にて開催

●探究講座オンライン 7月

<実施日> 令和3年7月11日(日)

<対象> 地域音楽コーディネーター

<受講者数> 17名

<内容>

(1)【実践にあたっての知識】

テーマ:「始めよう!資金調達ー地域音楽活動家のためのファンドレイジング概論ー」

講師:川野辺 雪菜 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 ファンドレイジング・広報担当
地域音楽コーディネーター

(2)【実践の紹介】

テーマ:地域音楽活動の秘訣「音楽での街の賑わいづくり」

講師:塚本 進介 第3回姫音祭実行委員会 事務局兼相談役(第1回、第2回実行委員長)
株式会社T&Tサービス 代表取締役、前姫路市議会議員

(3)【地域音楽コーディネーター「座談会」】

テーマ:Zoomの「ブレイクアウトルーム」を利用し、受講者の質問をテーマに講師と

グループトークを実施

講師:西野 桂子 NPO法人「音の風」代表理事、地域音楽コーディネーター
青木 好美 NPO法人「すくすくあいね」理事長、地域音楽コーディネーター
藤根 由紀子 NPO法人「みらいっこ」理事長、地域音楽コーディネーター

●探究講座オンライン 3月

<実施日> 令和4年3月13日(日)

<対象> 地域音楽コーディネーター

<受講者数> 10名

<内容>

(1)【実践にあたっての知識】

テーマ:「始めよう!資金調達ー地域音楽活動家のためのファンドレイジング概論ー

講師:川野辺 雪菜 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 ファンドレイジング・広報担当
地域音楽コーディネーター

(2)【地域音楽活動の秘訣】

テーマ:「音楽が可能にする!世界へ向けた地域の魅力発信」

講師:山地 真美 情景描写ピアニスト

(3)【地域音楽コーディネーター「座談会」】

テーマ:Zoomの「ブレイクアウトルーム」を利用し、参加者の質問をテーマに講師との
グループトークを実施

講師:西野 桂子 NPO法人「音の風」代表理事、地域音楽コーディネーター
青木 好美 NPO法人「すくすくあいね」理事長、地域音楽コーディネーター
藤根 由紀子 NPO法人「みらいっこ」理事長、地域音楽コーディネーター

<動画で学ぶワンポイント講座>

全国各地で活動していたり、これから活動しようとしている地域音楽コーディネーターに役立つ実践的スキルを時間や場所を限定せずにオンデマンドで受講できるweb動画セミナーを開設。今年度は受講生からの要望の強い資金調達やNPO法人設立に関する講座を追加しました。

<内容>

テーマ: NPO法人設立のコツ その1 法人化のメリット
NPO法人設立のコツ その2 法人設立の6つのステップ

講師:藤根 由紀子 NPO法人みらいっこ理事長
生涯学習音楽指導員、地域音楽コーディネーター

テーマ:始めよう!資金調達 Vol.1 定義(基礎)

始めよう!資金調達 Vol.2 始め方

講師:川野辺 雪菜 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 ファンドレイジング・広報担当

【その他の事業】

4. 音楽に関する出版物の編集及び発行

音楽文化創造のWEBサイトにて4回掲載いたしました。

●Vol.16 特集「パフォーマンス文化」 4月

新型コロナウイルスの影響を受けて、コンサートの中止とホールの休館が相次ぎ、突然パフォーマンスの機会が奪われてしまった。今特集では人にとってのパフォーマンスの意味とライブの魅力について取り上げ、パフォーマンス文化について改めて考える機会とする。

- ・「経済」と「生活」をめぐって —COVID-19 とパフォーマンス文化
宮入 恭平 社会学者・大学講師
- ・「音楽ライブにおいて音楽以外の要素はいかに扱われてきたのか」
南田 勝也 武蔵大学教授
- ・雑誌CMC 75号特集「いま、音楽はどのように聴かれているのか」
「インターネット時代の音楽受容と動画サイトからの創造・発信」
谷口 昭弘 フェリス女学院大学音楽学部准教授
- ・「フェス音楽体験」
山崎 翔 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻博士後期課程
- ・連載:音楽とキャリア -人生100年時代に向けて-
第9回:コロナパンデミックでわかったこと
久保田 慶一 音楽学者

●Vol.17 特集「音楽科におけるICTを活用した授業実践」 7月

ICTの活用にあたっては、児童生徒の興味・関心などに応じた深い学びの実現に向けた授業改善に活かしていくことが重要である。そこで、今号は音楽科におけるICT活用をテーマに取り上げ、ICTを用いた授業の諸問題を考察し、実践提案を行った。

- ・令和の日本型学校教育と音楽科における ICT 活用
深見 友紀子 大東文化大学文学部教育学科教授
- ・「音楽科で ICT機器を効果的に活用する ～子供の表現を支える新たなアイテムとして～」
米山 陽子 新潟大学附属新潟小学校教諭
- ・「特別支援教育における ICT」
杵鞭 広美 桐朋学園大学音楽学部 准教授
- ・連載「音楽とキャリア 人生100年時代に向けて」

第10回: ポスト・コロナ時代の可能性を探る

久保田 慶一 音楽学者

●Vol.18 特集「STEAM教育の実践」10月

芸術は常にさまざまな手法を模索しながら、正解のない高みを目指すことを余儀なくされるが、その創造的過程と拡散的思考が重要だといわれる。では、音楽との関わりによってSTEAM教育はどのような可能性を持つのか。今回の特集では、STEAM教育と音楽の関連について考察を行った。

- ・「21世紀は創造性の民主化時代:音楽が呼び覚ます創造の力
中島 さち子 ジャズピアニスト/作曲家/数学研究者/STEAM教育家
株式会社steAm代表取締役/大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー
- ・「直感」と「論理」を結びつけたSTEAM教育実践 —「総合的な学習の時間」における「楽器づくり」
森 健一郎 北海道教育大学釧路校教授
- ・ボーカロイドによるSTEAM教育の可能性
塩谷 友佳子 ヤマハ主幹 ボーカロイド実践担当
稲満 祐一 ヤマハ主事 ボーカロイド広報担当
三小田 美稲子 国土舘大学 教授
- ・投稿論文
ブエノスアイレス市立「アストル・ピアソラ」音楽院における アルゼンチン・タンゴ
—音楽専門高等教育の多様化に向けて—
ガサーノ アラン 東京学芸大学大学院 連合学校教育学科研究科 博士課程

●Vol.19 特集「音楽部活動と音楽とキャリア」1月

趣味としての音楽聴取や中高の部活動としての音楽活動は、比較的多くの青少年が触れられると同時に、場合によっては、音大受験や関連する専門学校への進学という形で、キャリア形成にも影響を及ぼす。今回は、青少年、いわゆる「若者」の音楽文化に対し、異なるアプローチ(質問紙調査、インタビュー調査、史的探究)を採っている「若手」研究者から、ヒントを得たい。

- ・音楽と関わって生きる—音楽家への聞き取り調査からの示唆
高橋 かおり 立教大学 社会情報教育研究センター 助教
- ・現代の若者と音楽のかかわり方 —How today's youth relate to music culture
小川 豊武 昭和女子大学人間社会学部現代教養学科
- ・旧制中学生、高等女学校生の音楽活動 —青少年の音楽文化の一系譜—
古仲 素子 明治大学職員
歌川 光一 聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授